

## 背景・課題

- 人口減少局面にある我が国において、研究者コミュニティの持続可能性を確保するとともに、多様な視点や優れた発想を取り入れ科学技術イノベーションを活性化していくためには、女性研究者の活躍促進が重要であるが、女性研究者割合を諸外国と比較すると依然として低い水準にあり、特に上位職に占める女性研究者の割合が低い状況。
- そのため、女性研究者が出産、育児等のライフイベントにかかわらず研究を継続できる環境の整備や、上位職登用の促進が必要。

### 【統合イノベーション戦略2023（令和5年6月9日閣議決定） 抜粋】

○引き続き、男性・女性研究者双方が育児・介護と研究を両立するための環境整備やサポート制度等の充実を進める事業を推進。

### 【第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定） 抜粋】

【科学技術・イノベーション政策において目指す主要な数値目標】大学教員のうち、教授等（学長、副学長、教授）に占める女性割合：早期に20%、2025年度までに23%（2020年度時点、17.7%）

## 事業概要

### 事業の目的・目標

- 研究と出産・育児等のライフイベントとの両立や女性研究者の研究力向上を通じたリーダーの育成を一体的に推進するダイバーシティ実現に向けた大学等の取組を支援する（H27年度より開始）

### ダイバーシティ実現に向けた取組の支援

- 対象機関：国公立大学、国立研究開発法人等

#### <女性リーダー育成型>

- 支援取組：教授・准教授等の上位職への女性研究者の登用を推進するため、挑戦的・野心的な数値目標を掲げる大学等の優れた取組を支援
- 事業期間：6年間（うち補助期間5年間）
- 支援金額：上限70百万円程度／年・件

※先端型、牽引型、特性対応型についてはR4年度までに採択された機関のみ継続実施

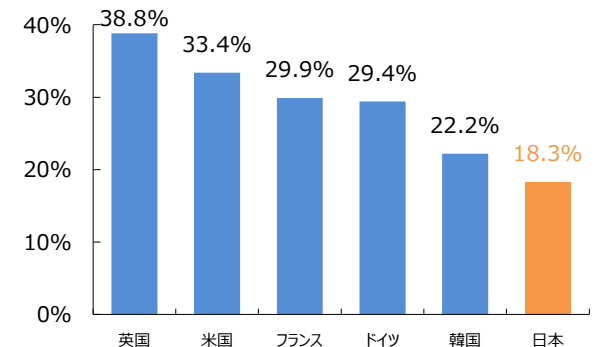
- 新規採択件数：5件程度（そのほか、既採択分36件を継続実施）

※別途実施中の先端型、牽引型、特性対応型についてはR4年度までに採択された機関のみ継続実施

### 調査分析等の実施

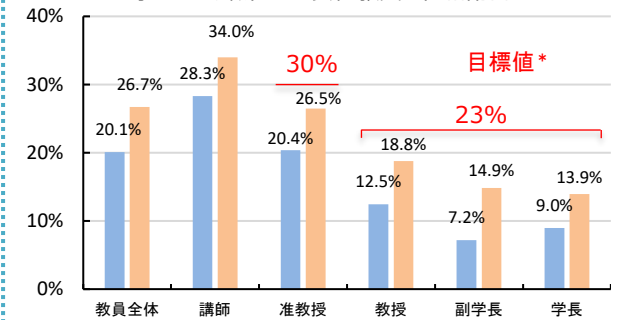
- 対象機関：国公立大学、国立研究開発法人等
- 事業期間：2年間
- 支援取組：女性研究者の活躍促進に資する海外の優れた取組に関する調査分析
- 支援金額等：25百万円程度／年・件（新規採択1件、継続実施1件）

#### ■ 女性研究者割合の国際比較



※「科学技術研究調査報告」（日本）、「Main Science and Technology Indicators」（英国、韓国、フランス、ドイツ）、「Science and Engineering Indicators」（米国）より作成

#### ■ 大学における職位別の女性教員の在籍割合



※「学校基本調査」より作成

\*第5次男女共同参画基本計画及び第6期科学技術・イノベーション基本計画における成果目標